



太田 達也 実行委員長

今回も濃いメンバーに支えられ「ねえみちよって」Vol.2を発刊することができました。本誌で取材依頼をさせていただいた皆様、発刊に至るまでの関係者の皆さま、そして松江市の担当者さま、本当にありがとうございました。松江市の子育て環境は他県、他市と比べても比較的に充実していることをVol.1.2の発刊で僕自身も再認識することが出来ました。あらためて松江が好きになりました!今、手にとって読んでいただいている皆様の子育てに何か一つでもお役にたてていければ幸いです。



中澤 ゆかり 取材・ライター

vol.2では「イクメン座談会」「聖子先生ほっと相談室」「親子でHappy玉造散策」を担当。取材を通して、子どもを見守ることの大切さを改めて感じる日々。わが子たちは成長と共に離れている時間も増えてきましたが、その分一緒に居られる時間を大事にしたいと思っています。



大西 伸和 カメラマン

撮影は子どもを見守る目の温かさを写せるように心がけています。ファインダー越しに見える子育てをサポートしてくださるたくさんの方の愛情を感じました。“子どもは地域の宝”松江市はこの言葉通りのまちだと痛感しています。私自身も子育て中の親としてもっと早く知っておけば良かったと思う内容です。一度だけでなく何度も繰り返し読んでいただけると幸いです。



野津 直嗣 取材・ライター

松江で子育てをもっと楽しんでもらえるように、そしてこのまちで暮らすことを幸せだと思ってもらえるように。ひとりひとりの親ごさんやお子さんの笑顔を想像して、一生懸命に本誌を作っています。手にとっていただいた方々にそういう思いが少しでも伝わるように今後とも頑張ります。



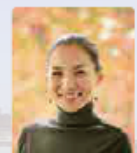
中村 和可子 取材・ライター

「子どもは地域の宝」「絵本はこころのこちそう」「松江の味」ページ担当。わが子はもうすぐ成人!子育て真っ最中の若いママ&パパに交って編集委員に参加させていただきました! 乳児医療やサポート体制、子どもの遊び場は約20年前と比べて良くなっていると思います。親子で参加できるイベントも増えてるし! 子育てをするなかでお世話になった地域の方々のあったかさも忘れず、松江を親子でうんと楽しんでいきたいと思います~!



松宮 悠人・星野 杏理 デザイン

夏号に続き、今号もページごとにさまざまな情報が盛り込まれています。ページをめくるたびにそれぞれ違った雰囲気や楽しさを感じていただければうれしいです。私たちが暮らす松江の良さや温かさ、家族の大切さを伝えていくことができるよう今後も努力します。みちよってを手にとっていただき、本当にありがとうございました!



河野 美知 取材・ライター

今年、新米ママになってドンピシャで「みちよって」世代の私。公私混同で取材を楽しんでいます。この「楽しむ」が子育ての“合言葉”だと言いついて、子どもの夜泣きを乗り切っています(^^) 皆んなで一緒に子育てしながら、松江の良いところ、いっぱい見つけていきたいと思います!